

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた試料・情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の試料・情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの試料・情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

当院のリチウム中毒患者における血中リチウム濃度と
アニオンギャップとの関連についての研究

1. 対象となる患者さん

2014年4月1日から2023年3月31日の間に当科でリチウム中毒の疑いで入院治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 救急科 山本 幸治

3. 研究の目的と意義

リチウム中毒において、血中リチウム濃度は緊急透析の施行など治療方針を検討する上で重要な因子ではありますが、血中リチウム濃度を直ちに測定出来る施設は多くありません。また、リチウム中毒を疑う症例において、血液ガス分析検査によるアニオンギャップ(AG)が狭小している場合には血中リチウム濃度が高い可能性があることが報告されていますが、狭小について具体的な数値などを示した研究はまだ十分ではありません。本研究の目的は、当センターの診療録を基に血中リチウム濃度とAGとの関連について後方視的検討を行い、関連性があるかどうかを明らかにすることです。この研究は、今後リチウム中毒の患者さんに対する迅速な治療方針決定に役立つ可能性があります。

4. 研究の方法

5. に示す〔試料・情報を対象の患者さんのカルテから収集し、AGの血中リチウム濃度の推定精度を算出します。〕

5. 使用する情報

診療情報：年齢・性別・身長・体重・既往歴、臨床症状、血液検査結果、バイタルサイン
心電図結果、来院後処置、臨床転帰

6. 試料・情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2025年3月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 救急科 山本 幸治

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：emer@naramed-u.ac.jp